

## 土岐英史客員教授 片倉真由子氏 ジャズ特別講義

1. 日 時： 2020年 12月 9日(水) 4限 5限

2. 場 所： K404

3. 対象学生(必修)： 大学ジャズ専攻 短大ジャズ・コース 短専ジャズ 各専攻生

学内のみ他聴講可

4. 講師紹介： 土岐英史客員教授 片倉真由子氏

### ◆ 土岐英史(ときひでふみ)客員教授

1950年神戸に生まれる。中学時代にクラリネットとサクスを始め、高校入学後、弱冠16歳でプロデビュー。大学進学後に上京。新宿のジャズ・クラブで活動しながら渡辺貞夫、増尾好秋、本田竹広、峰厚介らとセッションを重ねてきた。1970年からは、鈴木勲グループ、宮間利之とニューハード、日野皓正クインテット、川崎燎クインテット、板橋文夫カルテットなど、日本ジャズ・シーンの伝説的ユニットに参加。1974年には渡辺香津美らとともに土岐英史カルテットを結成し、「TOKI」「LOVERMAN」などの名作を発表。その後もライブ活動に加え、松岡直也、山下達郎、坂本龍一らとのセッション、スタジオ・ワークなど多方面で活躍。また海外でもレコーディングやフェスティバルへの参加など精力的な活動を展開し、1985年からは山岸潤史、続木徹らと共にチキンシャックを結成。同ユニットでこれまでに10枚以上の作品を発表し、ブルーノート東京にも出演を果たしている。その卓越した演奏技術とソウルフルなサウンドで満席のフロアを沸かせたことも記憶に新しい。まさに日本ジャズ史にその名を刻むサクソ奏者といえる。2018年4月より大阪音楽大学客員教授に就任。

### ◆ 片倉真由子(かたくらまゆこ)氏 Jazz Pianist

1980年、宮城県仙台市出身。幼少よりクラシックピアノを始める。

洗足学園短期大学入学と同時にジャズピアノに転向、ピアノを今泉正明氏に師事。同大学を首席で卒業後、2002年、バークリー音楽大学より奨学金を受け、入学する。

在学中より、ボストン市内のライブハウスで、クリスチャンスコット、デイヴサントロらと演奏を重ねる。

2004年、piano achievement awardを受賞し、卒業する。卒業後は、ディックオーツ、ジェリーバーガンジーらと演奏を重ね、また、2004年8月に行われたLitchfield Jazz Festivalに、デイヴサントロのピアニストとして出演する。

2005年9月、ジュリアード音楽院入学。ピアノをケニーバロンに、アンサンブルをカールアレン、ベンウォルフに師事。在学中より、ハンクジョーンズ、ドナルドハリソン、カールアレン、ベンウォルフ、エディーヘンダーソン、ビクターゴーインズ、ドミニクファリナッチらと共演する。2006年、Mary Lou Williams Women In Jazz Piano Competitionで優勝し、翌年5月に、同ジャズフェスティバルに自己のトリオを率いて出演する。また2006年9月に開催されたThelonious Monk International Jazz Piano Competitionのセミファイナリストに選ばれる。

現在は自己のトリオをはじめ、山口真文カルテット、大坂昌彦グループ、伊藤君子グループ、竹内直カルテット、the MOSTなどのメンバーとして活動中。2009年9月には、リーダーアルバム「インスピレーション」をリリース。第43回スイングジャーナル社主催の「ジャズディスク大賞」において、ニュースター賞を受賞。2010年9月、セカンドアルバム「フェイス」をリリース。

洗足学園音楽大学非常勤講師。

5. 講義概要：

講師、学生によるセッション形式の演奏を行い、ジャズ演奏の方法論および各学生の問題点等について指導して頂く。